

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 2 6 日 更新

事務事業名		防犯灯整備事業（令和6年から防犯施設整備事業）				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施 策	17 防犯対策の推進				所属課	安全安心課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	54 防犯に関する環境整備				所属班	交通防犯対策班	(内線)	1243
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10025	根拠法令	防犯灯等整備対策要綱(閣議決定)	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 48 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要（PLAN）

【事業の内容】	施設関係や幹線道路の通学路（区で設置するもの以外）などで未整備路線への防犯灯新設や、市が設置している防犯灯の修繕、電気料の支払い等維持管理を行う事業である。 平成25年度に、市が管理している防犯灯については、国の補助を受け、市が管理する防犯灯827基を全てLED化し、併せて設置データをデジタル化した。 令和6年度から10029防犯資機材支給事業、10026防犯灯設置等助成事業、11757見守りカメラ（防犯カメラ）設置事業、11638防犯カメラ設置支援事業を統合し、名称を防犯施設整備事業に変更する。
【業務の流れ】	・地域（区、学校）からの要望、地域と協議、設置の有無の決定、設計書作成、契約事務、工事立合い 検査、電気料の申請、支払い・市民・通行者からの連絡の受理、現地確認、修繕の発注、確認検査、支払い
【主な予算費目】	・需用費(光熱水費、修繕費)、工事請負費
【意見や要望】	・保護者、区長、学校より暗がり、犯罪の危険性があることから早急な設置要望がある ・設置場所次第では、近隣者より明るくて眠れない。また、農作物が育たないとの苦情がある。

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 市内の幹線道路に新設防犯灯の設置(2件)及び既設防犯灯の修理・移設(4件)を行い、防犯対策として環境整備を行なった。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) R6年度から防犯資機材支給事業、防犯灯設置等助成事業、見守りカメラ（防犯カメラ）設置事業、防犯カメラ設置支援事業を統合し、名称を防犯施設整備事業に変更する。 ①市管理防犯灯の電気料・修繕・設置工事②区管理防犯灯の設置費・維持管理費の補助③市管理の見守りカメラの電気料・修繕、設置工事④区管理黄斑カメラの設置費補助⑤防犯敷材の購入・防犯団体への支給
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:年度工事回数	回	令和6年度から10029防犯資機材支給事業、10026防犯灯設置等助成事業、11757見守りカメラ（防犯カメラ）設置事業、11638防犯カメラ設置支援助成事業を統合することによる増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等・市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
	→ア:人口	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)・夜間においても安心して通行できるようになる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
	→ア:新設防犯灯の設置件数(市)	件
	→イ:既設防犯灯の修繕件数(市)	件
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・「夜間においても安心して通行できるようになる」には、市設置分の新設防犯灯、不具合の防犯灯をどれだけ修繕できたか、で判断する。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	アイ	回	2	5	2	6	2	2	2	2
② 対象指標	アイ	人	63,841	64,453	65,500	64,787	65,311	66,650	68,409	69,457
③ 成果指標	アイ	件	11	10	10	3	10	10	10	10
	イ	件	3	3	8	6	8	8	8	8
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		1,000					
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	千円	3,922	3,901	6,733	4,692	16,972	16,972	16,972	16,972
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	4	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	250	550	300	340	300	300	300
	(B)人件費計		千円	977	2,093	1,195	1,238	1,195	1,195	1,195
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,899	6,994	7,928	5,930	18,167	18,167	18,167

事務事業名	防犯灯整備事業（令和6年から防犯施設整備事業）	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 修繕や移設等が多く、新規設置数の目標値は下回った。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 市民からの防犯灯設置の要望は多く、要望箇所の調査を十分に行い、計画的な設置に努めていくことで、成果の向上余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 10029防犯資機材支給事業、10026防犯灯設置等助成事業、11757見守りカメラ（防犯カメラ）設置事業、11638防犯カメラ設置支援事業を本事業に統合し、名称を防犯施設整備事業に変更し、防犯対策のための施設整備を推進していく。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 平成25年度事業で、国庫補助を受けて市が管理する防犯灯827基をLED化を実施。通学路等に新設予定であるが最低限の予算で対応しており削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 電気料の支払い、修繕や工事発注事務に要する人件費のみである。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・区で対応しない通学路等の主要道路については、市で整備するものであり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 各区内の防犯灯の整備、維持管理については各区で行い、それ以外の不特定多数の人が利用する幹線道路などについては市で整備、維持管理を行っている。

3 評価結果の総括（CHECK）

防犯灯の設置要望については、公平性・必要性を考慮し整備を行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☒ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策